



審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

長谷川忍教育こども未来部長よりあいさつ。

2 自己紹介

検討委員会名簿の順に自己紹介。

3 委員長・副委員長の選出

識見を有する者として、鎌倉博委員が委員長、瀬野由衣委員が副委員長に推挙され、委員によって承認された。

4 議題

(1) 本検討委員会の流れについて

【資料3に基づき、事務局から説明】

委員：今回の検討委員会（以降委員会と記載）はハード面、ソフト面両方とも検討していくのか。

事務局：両方とも検討していく。

委員：ワークショップ（以降WSと記載）では図面など具体的な形を見る事は可能か。

事務局：WSの時点ではどのような方針にしていくのかを議論し、基本構想に繋げる。

D B：形の前になんか園にするのかという思いを汲み取るのが目的。

その際具体例として他の保育園を紹介する。

委員：WSの日時はいつごろか。

多くの方が参加しやすいように、平日、土、日に分けて何日か開催して欲しい。

委員：父親の参加も踏まえて日曜日に設定してはどうか。

事務局：時期は11月に検討している。スケジュール的に複数の日程は難しく1回の開催で考えている。第2回の委員会で具体的な日程案を提出予定。

委員：基本構想決定後、基本・実施設計の段階で委員会はあるのか、今回の委員会でどこまで具体的に意見を言えば良いのか。

事務局：作業の進行上難しい為、今後の設計段階での委員会開催は考えていない。

本委員会の時点で意見を出してほしい。

委員：基本構想後、基本・実施設計の作業途中に内容（図面など）は見る事は可能な

のか。

事務局：途中経過は難しい。

委員：五条川小学校の放課後児童クラブを建設する際、途中経過は見られなかったが、父母の会への説明時に図面は公開して頂き説明を受けた。そういう手法も考えられる。

事務局：完成図面は、今回も公開していく予定である。

委員：本委員会で具体的な意見はどこまで踏み込んで良いのか。

委員長：意見を聞くための場である為、そういった制約は特にない。

委員：特性のある子のいる子の家庭に配慮したWSは可能か。

委員：WSに参加はしたいが、都合で参加できない保護者の意見聴取はどうするのか。

事務局：アンケートに書いて頂くという考えでいる。

また、委員は代表者として可能な範囲で、関係する機関で意見を集約して頂けるとありがたい。

委員：WSに関する情報公開はするのか。

事務局：当日の内容の情報公開は行う予定。

委員：WSの時、別室で子どもを預かって頂けると参加しやすくなるのでは。

#### 《 検討委員会の流れ：まとめ 》

委員長：委員会ではハード面・ソフト面含めて意見を出してもらおう。

集約の方法として、検討委員会にて各委員が可能な範囲で集約して頂いた意見を出してもらおう。また、アンケートを通して意見を聴取する。

WSの時期は参加しやすい日時で、また参加の際に子どもの預かりを検討してもらいたい。

#### (2) 岩倉市五条川小学校区統合保育園に関するアンケート（案）について

##### 【資料4に基づき、事務局より説明】

##### <補足説明>

アンケートは公立の保育園に通われている世帯に、1世帯1回答でお願いすること、あゆみの家についてはH30頃から毎年アンケートを取っている為、それを活用すること、また第2回までに直接ヒアリングをすることも考えていることを併せて説明する。

委員：毎年行うアンケートでも事情が変わったり、直接ヒアリングを受けることが難

しい場合もあることから、あゆみの家でもアンケートを取ってほしい。

事務局：あゆみの家に通われている人向けのアンケートを別途作成するとともに、直接のヒアリングを行いたい。

委員長：あゆみの家でもアンケートを取りつつ、さらに直接ヒアリングを行う。

委員：外国籍の方はどうするのか。

事務局：ひらがなの記載にしたものとポルトガル語に翻訳したものを作成している。

委員：五条川小学校区外の人にも興味を持ってもらえるようにしたほうが良いのではないか。

事務局：保護者用のアンケートのタイトルから「五条川小学校区」を削除する。

委員：保育士にもアンケートを取ることはよいことである。アンケートに答えやすいように配慮した前書きを入れてはどうか。

事務局：原則園長から扱いについて説明されて実施される。

委員：公立園に通っているため、私立園の良さが分からない。

委員：私立園の先生も委員会に参加していただいていることから、委員会で良さを説明してもらってはどうか。

委員：公立園のみアンケートをとり、私立園はとらないのか。  
公立園に通う方に私立園のイメージを問う必要があるのか。

委員：WS参加・不参加の設問に、参加しやすい日時を確認を増やして頂きたい。

委員：2022年度の保育園父母の会連絡会では十分な駐車場、災害に強い、小規模や公立園の良さを引き継いでほしいといった意見が多かった。

また運営主体では、公立が61%、私立が4.1%、分からないが31%の結果であった。

今回は公立か私立かのアンケートはとらないのか。

委員：保育園の掲示板に委員会等の資料を置いて、周知を図ってほしい。

事務局：・今回は、公立施設の統合のため、公立を利用する方に意見を伺いたい。

あえて公立園の保護者に利用している園についてしかわからないという前提で、私立園に対してどういったイメージを持っているか把握する為に行う。

- ・WSの設問は選択肢を増やし修正する。
- ・直接、公立または私立の希望をとることは考えていない。
- ・検討委員会の資料など、保護者の皆様に見ていただけるようにしていく。

委員長：私立園に通う方の意見も取りたいが、私立園は経営的な面からも利用者の満足度を上げる努力をしているため、アンケートを取っても私立園を希望する回答が

くると見込まれる。そのため、アンケートの主旨から公立の保育園に限定してアンケートをとる方がよいと考える。

公立・私立のどちらが望ましいかは、アンケート結果も参考にして第2回の委員会で議論して検討する。

委員：保育士向けのアンケートについて、保護者用の依頼文までの内容とは言わないが、回答者が特定されない旨を一文加えたほうが良い。

事務局：アンケートのスペースを考慮して、一文加えるようにする。

委員：加配保育については、具体的な設問や支援児の保護者に別にアンケートをとらないのか。

委員：保護者によって受け止め方は様々なので、表現は配慮して欲しい。

副委員長：加配という言葉が岩倉では一般的に使われているようだが、他市ではあまり一般的ではないため、市の状況を踏まえて言い方を考える必要がある。療育支援とか支援児とか要支援児という言い方が一般的である。

事務局：問6、7の「保育サービス」や問10の「発達の状況に～」というところに入れていたが、もっと分かりやすいように、設問を少し修正する。

委員：「保育方針」という言葉が分からない。

委員：保育士用のアンケートは、提出時に封書に入れて個人が特定されないようにするなど、配慮があった方が良い。

あゆみの家の保育士はアンケートを行わないのか。

保育士アンケートに新しい保育園に期待することを自由に記載できる欄を設けたほうが良い。

委員：民営化されることにより、不安に思うことを記述する設問が欲しい。

保護者アンケートに新しい保育園に期待することを自由に記載できる欄を設けて欲しい。

事務局：・「保育方針」という表現を修正する。

・個人が特定されないように封筒を渡すなどの対応を行う。

・あゆみの家の保育士については、運営状況が違う為、予定はしていなかったが、保育士用のアンケートを基本に、運営にあわせて修正した設問でアンケートを行うことにする。

・民営化することを前提とした設問は考えていない。

・新しい保育園に期待することについては、項目3の設問にその他欄を設けていることから、そこで記載できると考えている。

《 会議の議題：まとめ 》

委員長：委員会の内容を反映して、アンケートを修正し早く配布できるように進める。

## 5 その他

### (1) 今後の検討委員会の日程について

事務局：候補日のうち都合の悪い日を教えてもらい、最も多くの委員が参加できる日程で決定する。各会、2時間ほどで予定している。

委員に確認した結果、以下の日程に決定。

- ・第2回 11月11日（金）午前10時00分～
- ・第3回 1月6日（金）午前9時30分～
- ・第4回 2月21日（火）午前9時30分～

ワークショップについてはアンケート結果をふまえて改めて決定する。

### (2) その他

なし

以上で第1回の検討委員会を終了する。